

粘土瓦の特性について

瓦は天然素材である自然の粘土を原料とした大型焼成品です。粘土は採取場所により、成分や性質が異なり、また同一場所での採取でも全く均一な粘土は存在しません。

現象が多く見られることがありますが、瓦本来の品質、性能に何ら問題はありませんので、安心してご利用いただきますようお願いいたします。

色ムラ

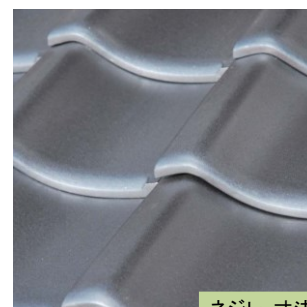
粘土成分の違いや、気圧・気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。



色ムラ

ネジレ・寸法

焼き物特有の若干のネジレや寸法のバラツキがある場合があります。また瓦は重ね合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦の間に隙間ができる場合があります。



ネジレ・寸法

貫入(かんにゅう)

陶器瓦(釉薬瓦)は貫入(かんにゅう)と呼ばれる表面亀裂が発生する場合があります。これは陶器製品特有の現象で生地を焼いて焼結させる場合、粘土と釉薬の収縮率の違いにより釉薬表面に細かい亀裂が発生します。但しこれは製品生地までの亀裂ではなく製品の品質(漏水、強度など)には問題ありません。



貫入(かんにゅう)

ピンホール

陶器瓦(釉薬瓦)には釉薬面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物(亜炭)などが燃焼して発生するものですが、品質(漏水、強度など)には問題ありません。



ピンホール

表面の汚れ・コケ等

施工後、ホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合があります。また、住宅の立地条件により瓦表面にコケなどが付着することがありますが、屋根材としての品質・性能及び耐久性を損なうものではありません。